

平成27年度花巻市地域自治推進委員会（第3回）【記録】

日 時 平成28年1月8日（金）午前10時～11時50分

場 所 花巻市役所本庁舎3階 302会議室

出席者 委員10名（岩渕会長、川村副会長、小野委員、小原委員、古川委員、熊谷委員、高橋委員、齊藤委員、坂本委員、福盛田委員）
※欠席委員：佐藤委員、久保田委員
事務局3名（久保田地域づくり課長、寺林秘書政策課企画調整係長、幅下地域づくり課主事）
説明者2名（似内秘書政策課課長補佐、佐々木地域づくり課地域振興係長）

内 容 1 開 会
2 あいさつ
3 協 議
（1）市町合併の検証について
（2）新市建設計画（案）について
4 閉 会

久保田地域づくり課長 ただ今より、平成27年度第3回花巻市自治推進委員会を開会いたします。開会にあたりまして岩渕会長よりごあいさつ申し上げます。

岩渕会長 おはようございます。本日は平成27年度3回目の自治推進委員会ということでございます。よろしくお願ひします。

久保田地域づくり課長 それでは、本日の議事に入らせていただきます。花巻市自治推進委員会条例第4条第2項によりまして、議長は会長にお願いしたいと思います。岩渕会長、よろしくお願ひします。

岩渕会長 本日協議いただく案件は2件です。担当課から説明をいただいた後に、皆さんから意見をいただきたいと思っております。はじめに「（1）市町合併の検証について」に対する意見をいただきたいと思います。この市町合併の検証については、昨年の8月25日に開催した第1回花巻市地域自治推進委員会において総括的な観点からの振り返りとして意見をいただいたところです。今回は平成17年1月に制定された新市建設計画に主要施策として掲げられている5つの項目について、合併から10年が経過した現在の状況について委員の皆様から意見をいただきたいと思います。それでは地域づくり課から説明をお願いいたします。

佐々木地域づくり課地域振興係長 「協議（1）市町合併の検証について」説明

岩渕会長 ご意見があれば出していただきたいと思います。はじめに「1 美しく快適な暮らしづくり」についていかがでしょうか？

高橋委員 水害や土砂災害などの発生の恐れがある危険個所の的確な把握と解消に努めるとあるが、田沢ため池が地震などで決壊した場合は大丈夫なのか。尻平川は、上流部の横志田地区に入ると川幅が非常に狭くなり、泥もたまっている。本年度に数百メートルほどの整備をしたようだが、この上流部に手を付けな

いと意味がないのではないか。この周辺は熊も多く出没する地域でもあり、環境を守る会が資金を出して雑木の伐採も行った経緯もある。市の財政が厳しい中にあって、地域住民も環境整備に協力できる部分もあるので、互いに調整しながら進めてほしい。

齊藤委員 花巻市は下水道の整備は進んでいると思う。しかし、自然環境の保全に対する市民の認識は低いのではないか？市民の意識啓発が必要だと考えるが、行政に頼るだけではなく、生涯学習に取り入れるなどして、市民の自主的な取り組みにつながるようになってほしい。

福盛田委員 消防団の担い手の確保が難しくなってきている。若い人達は勤めているため、なかなか活動に入りづらい。万が一、現役の消防団員がどうしても参集できず、消防車を出せない場合などはO Bや後援会の活用もできるようなことも検討してもいいのではないかと思う。

古川委員 想定外の自然災害が発生している中にあって、花巻市はハザードマップを全戸配布するなど、評価できることをやっていると思う。問題は実際に災害が発生しそうな時にどのように対応すればよいのかを住民がどこまで理解しているのかということであり、この点については若干不安が残る。自主防災組織に向けた研修や指導を継続して行っていただきたい。

高橋委員 道の駅整備事業について笛間・太田地区では統一要望として出ている。また、この件については現在のところ西南振興協議会で進めているが、財政的な問題もあるためか、なかなか進捗しないでいる。現状においてどうなっているのか？

似内秘書政策課
課長補佐 今の段階では具体的な話として進められていないものと認識している。ただし、道の駅に関してはこの件のほかにもお話があるので、新市建設計画の中に盛り込んでいるものだ。

岩渕会長 次に「2 心かよう安心の社会づくり」についてはいかがでしょうか？

高橋委員 西南地区の幼稚園や保育園、小学校をそれぞれ統合してもよいのではないか。検討していただきたい。

坂本委員 学童クラブに保健センターの栄養士に来てもらって食育教室をしてもらった。3年生の子供達には、お米を研ぐことから教えてもらって昼食を作ったが、とても有意義な時間となった。この保健センターの事業のように非常に素晴らしい内容の事業があることを知っている人が少ないことはもったいない。もっと活用してもらうような方策を考えてもよいのではないか？

古川委員 少子化が問題となっているが、不妊治療に対する補助も市ではじめている。これだって知っている人が少ない。よい事業もっと知つてもらうようにしたほうがよい。

福盛田委員 育児休暇期間を過ぎて、子供を預かってくれるところがないとの声がある。子供の受け入れ先が充実しないと、子供は増えないとと思う。早急に対応すべき案件だ。また、障がい福祉の充実に関しては、障がい者にやさしい職場が増えるよう、事業主の理解度を深めていかないとなかなか解決しないと思う。

坂本委員 ファミリーサポート事業がもう少し使い勝手の良いものであればよいのだが、1～2時間くらい預けるのならよいかもしないが、1日単位だとそれ

ば料金が高い。

小原委員 合併の検証とあるが、旧3町区域でもこのような検証がなされているのか？

久保田地域づくり課長 大迫、石鳥谷、東和の地域協議会において検証されている。

小原委員 人口減少にどう対応するかが問題の根本。旧3町区域は特に減少が著しいようだ。花巻地域においても地区によって格差が出てきている。吹張町の商店街も随分とシャッターを閉じている。にもかかわらず固定資産税は若葉町より上町の方が評価額高く、現状に沿ったものとなっているとは考えにくい状況だ。合併して10年が経過する中にあって、もっと実情を見ながら、根本から考えていく必要があると思う。

岩渕会長 「3　人が輝くまちづくり」についてはいかがでしょうか？

坂本委員 地域文化と人づくりについて、神楽の公演日については、それぞれの団体に直接聞かないとわからない。これを市のホームページにまとめて掲載すれば、もっと集客につながるのではないか？

小野委員 学校教育の充実について、いじめ問題への対応の一環として、学校の教師ではない外部講師を招いた人権教室というものが最近学校において行われている。生徒にとっても新鮮味があって好評なようだ。こういった外部の人間が加わって問題に取り組むということはとても有効だと考えられるので、もっと取り入れてほしいものだ。

高橋委員 現在は総合花巻病院の移転に話が集中しているが、花巻図書館の今後の在り様についても早急に姿を示してほしい。また、新市建設設計画の中には、“通学区域の再編や統廃合等も視野に入れ、学校施設や設備の整備充実に努めるとともに、余裕教室の有効活用や地域社会への開放を推進します”との記述があるが、実際どうなっているのか？

似内秘書政策課課長補佐 合併以降、東和小学校の統合が行われたところ。今後においても引き続き検討していくものであると考えている。

小原委員 県内市町村の中で、一度に数百人規模の大会やイベントを行えるのは花巻市くらいではないか？交通網や宿泊施設など、有利な資源があるのに活かし切れていないように感じる。また、これまで市と民間企業が連携することはあまりなかったが、最近ではイトーヨーカドーとの協定が締結されたことや総合花巻病院の移転に対する支援の検討を始めるなど、一歩踏み込んだ取り組みをしている。このことは非常に頼もしく、明るい傾向であると感じており、今後も進めてほしい。

齋藤委員 人口減少は全国的な問題。人口減少問題に対する取り組みの成功例は全国にいくつかあるので、良いものは取り入れてほしい。いずれにしても、市外から人が流入するような施策が必要だと思う。また、これまで花巻市に観光客のお土産になるようなものがないと言ってきたが、未だに出来ないことにじれったさを感じている。さらに、この新市建設設計画の文章には、全体的に緊張感が感じられないと思う。

川村委員 地区公民館整備事業に関連してだが、自治公民館の中には法改正前の耐震構造のものある。災害時には、地域住民の初期の拠点施設ともなり得るものな

ので、何とかならないものかと考えている。また、自治公民館長協議会というものがあるが、大迫や石鳥谷地区においても同様の組織があるものの、東和町区域のみ存在しない状況。このため市からは活動に対する予算がつかないでいる。災害時においても有益な組織になっているので検討いただきたいものだ。

岩渕会長

「4 活力ある躍動の産業づくり」についてはいかがでしょうか？

齊藤委員

グリーンツーリズムは必要な事業だが、農家の高齢化も進んでおり負担となっている。非農家も加えるなど裾野を広げてもよいのではないか。

坂本委員

商店街にイルミネーションが作られているが素通り。もっと足を止めるような事業がほしいところだ。

小原委員

町内の喫茶店がなくなったとたんに、いっきに寂しくなった。

齊藤委員

商店の一角に喫茶スペースを設けたら、人が集まるようになった。

熊谷委員

そもそも市民と行政が情報を共有していないのではないか。市長だけではなく、職員が地域をもっと歩いて回らなければ、現状が認識されず、このような計画には反映されないのだろう。地域と市役所の距離をもっと縮めないといけない。

齊藤委員

職員が地域に入ることは本当に必要だと思う。

坂本委員

振興センターの職員体制については、当初は課長級職員と主任級職員の2名体制であったものの徐々に減少し、来年度からは非常勤職員も引き上げとなる。こうした意味では逆方向に進んでいると思う。

川村委員

TPPが入ると農業は一変する。土地利用型については特に顕著であろうし、ましてや補助金頼みの体質では到底立ちいかない。花巻の農業がどうあるべきか、根本から考えなければならない。また、若い担い手の確保のために、まとまった農地の確保や有利な資本投入を積極的に進めるなどといった支援を行っていかないと本当に厳しい状況になるだろう。

岩渕会長

「5 計画の推進にあたって」については、これまでに各委員からすでに意見をいただいておりますことから。

高橋委員

いずれにしても職員の育成が肝心だ。職員が地域に直接出向いてもっと声を聴く姿勢をもってほしい。

岩渕会長

ありがとうございました。続きまして「(2) 新市建設計画(案)について」、担当課の秘書政策課から説明をお願いいたします。

似内秘書政策課
課長補佐

「協議 (2) 新市建設計画 (案) について」説明

岩渕会長

今回は、この新市建設計画の変更案について説明いただきましたが、先ほど協議いただいた市町合併の検証においても、新市建設計画に掲げられた主要施策に沿って意見をいただいたところです。この変更案については2月に本委員会において別途、諮問答申されることとなっておりますのでその際にご

意見をいただきたいと存じます。それでは委員会を終了いたします。ありがとうございました。